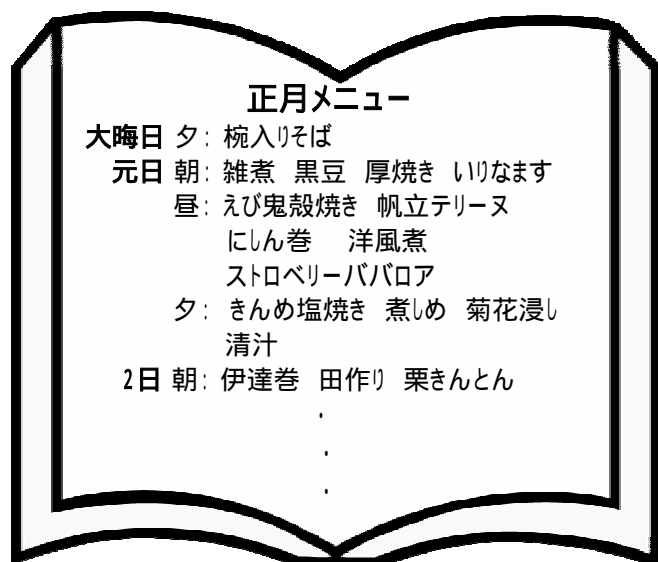


入院患者さんのお正月の献立から

～病院行事食のご紹介～



正月メニュー

大晦日 夕：椀入りそば
元日 朝：雑煮 黒豆 厚焼き いりなます
昼：えび鬼殻焼き 帆立テリーヌ
にしん巻 洋風煮
ストロベリーパバロア
夕：きんめ塩焼き 煮しめ 菊花浸し
清汁
2日 朝：伊達巻 田作り 栗きんとん

お正月を病院で迎える患者さんのために、大晦日と元日から3日までの三が日、「迎春」のメッセージカードを添えて、いつもの食事と違った行事食をお届けしています。ささやかですがお食事を通して、お正月気分を味わっていただければ幸いです。

行事食は、このほか2月3日の節分（福豆）、3月3日のひな祭り（桜ちらし）、5月5日のこどもの日（たけのご飯）、土用の丑の日（うなぎの蒲焼）、体育の日（栗ごはん）など年中行事にちなんだ季節感あふれる献立を用意しています。

また、季節献立として、旬の素材を使った夏メニュー（チキンと夏野菜のカレー、冷麦など）や冬メニュー（きのこビーフのカレーなど）も取り入れ、少しでもおいしく召し上がっていただければと願っております。（食養科）



第11回 川崎病院 ニューイヤーコンサートへのお誘い



第10回（平成16年1月）より

日時 平成17年1月14日（金）
午後6時開演
場所 外来棟1階ロビー
演目 声楽・ピアノ・お琴 他
入場無料

いつもの待合ロビーが、コンサート会場に大変身します！川崎病院ですてきな音楽を聞いて、新春気分を満喫してください。

川崎病院では、入院中の患者さんに気持ちよく療養生活をおくっていただくとともに、少しでも心の励みになればということで、10年前から毎年ニューイヤーコンサートを開催し、たくさんの方からご好評をいただいています。

11回目となる今回も、前回にひきつづき、職員や患者さんの家族による手作りのコンサートを行います。バラエティ豊かな曲目で、年齢を問わず皆様に楽しんでいただける内容です。

患者さんをはじめ、どなたでも鑑賞していただけます。鑑賞をご希望の方は、コンサート当日、直接会場へお越しください。

お問い合わせ 川崎病院庶務課庶務係
233 - 5521 内線3543

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様はどのようなお正月をお過ごしになりましたでしょうか。昨年は夏の平均気温が高く、予報によりますと今年のスギ・ヒノキの花粉飛散は、平年を上回るとのことです。例年花粉症で苦勞される患者さんは、薬の予防服薬など早めにご相談下さい。

（広報委員会）



川崎市立川崎病院
シンボルツリー

くすの木

平成17年 1月 4日発行（第5号） 発行責任者：添田 真郷 編集：広報委員会
事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/35/35kawsyo/home/home.htm>

川崎市立川崎病院の基本理念

川崎市立川崎病院は、自治体病院として、市民に最善の医療を提供し、地域の皆様の健康と福祉の向上に貢献することを目指し、その目的のために職員の和とたゆまぬ研究心をもって、次のことを実践してまいります。

- 1 「病気」ではなく「病人」を診る患者さん中心の医療
- 2 地域の基幹病院として、質の高い医療を提供
- 3 健全な経営基盤の確立

【患者さんの権利】

1. 生命の尊重と、人格を尊重した医療を受けることができます。
2. 安全で安心できる良質な医療を受けることができます。
3. 患者さんご自身の病気や治療について、わかりやすく、また、十分な説明と、その情報の提供を受けることができます。
4. 希望や意見を述べていただき、診療方法については自らの意思で選択あるいは拒否することができます。
5. ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師の意見を聞くことができます。
6. 診療上の個人情報保護は保護され、その秘密は守られます。

年頭のご挨拶

病院長 秋月 哲史

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新しい年を迎え、川崎市立病院を取巻く環境は大きく変わろうとしています。

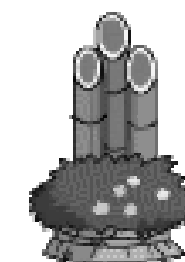
当院においても、健全な経営基盤の確立が重要な点でございます。さらに、病院現場を預かるものとして、患者さんの心に触れる医療の提供ではないかと思っております。

昨年10月には、病院機能評価を受審し、全職員一丸となって医療の質向上のため、手順に関する各種マニュアルの整備などの改善を行うとともに、医療安全管理室を設置し、医療における安全対策も充実してまいりました。

新年度には、川崎市立の病院は地方公営企業法の全部適用を受けることにより、経営の手法が大きく変化いたします。新たに病院企業管理者が置かれ、これまでに増して能率的・機動的な業務を進める環境が整備されてまいります。

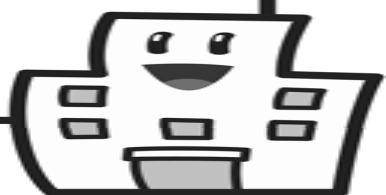
今後は、地域に密着した医療の提供を行うため、病院・診療所との連携を密にするとともに、地域の皆様への情報発信のため、本紙を始めホームページ等を積極的に活用し、開かれた病院を目指してまいりたいと存じます。

市民の皆様には、今年一年がよい年であることを心より祈念申し上げます。



“グラッ ときても”

～大規模災害対策の現状～

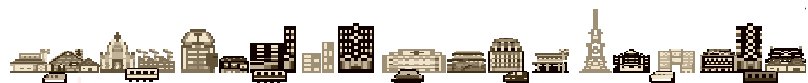


川崎病院が全面改築される直前に神戸大震災の発生があり、改築に当たっては、神戸の教訓を生かすべく大規模災害に対する新機軸が数多く導入されています。建物構造上核となる中心部分は地下数十メートルの岩盤までアンカーを打ち込み、想定される大地震には十二分に耐えられる強度を持っており、建物自体が破壊される心配はありません。

現実に関心なことは、電気・ガス・水道などのライフラインの遮断ですが、停電しても瞬時に非常電源が起動します。自家発電機は備蓄の重油で3日間の電気を供給できます。食料品・医薬品の備蓄も3日分を確保してあります。

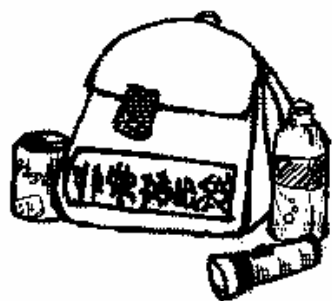
万一、火災が発生した場合、避難が困難となる場合がありますが、当院の中央エレベーターは火災発生時にも使用可能という日本初の認可を得た特殊な構造をしたものです。

予想される多数の負傷者の診察・治療には現在待合室として使用されているスペースが流用され、従来の外来診察室64室は重症患者さんの入院ベッドに当てられるため、いたるところに酸素と吸引の配管が施されています。



12月1日に当院からも医師、看護師らから成る医療支援チームが新潟中越地震の被災地に派遣されましたが、振り返って当院の大規模災害対策の現状はどうなのでしょう。改築計画に携わった一線内科部長に聞いてみました。

当院は空港、港湾施設からも近く、交通の要衝地にあるため、比較的早期から支援活動の手が差し伸べられる可能性が高いのですが、油断することなく、備えを怠らないことが大事だと思います。ハードが如何に充実していても動かす人間が最も重要です。



飲食コーナーのご紹介

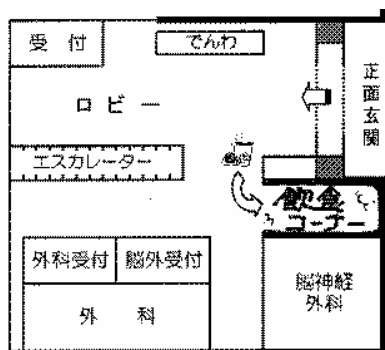
川崎病院では、投書箱に寄せられましたご意見を参考に、院内の様々な改善を図っております。

そのなかで、検査のために食事をされないでお出でになった方から「売店で購入したお弁当やパンなどを食べられる場所が欲しい」など、外来受診の際にお持ちになった軽食を摂ることのできる場所を希望されるご提案を頂きました。

それらのご要望にお応えして、1階 脳神経外科外来横に飲食コーナーを設置いたしました。10月には「軽食ができるところを作ってくれてありがとうございます」との感謝の投書も頂きました。

テーブルや清涼飲料水の自動販売機がございますので、ご利用ください。

今後もお気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せください。



部門紹介

眼科

近年は情報化社会に伴い、眼精疲労やドライアイの患者さんが増えています。また高齢化社会に伴い白内障、緑内障、黄斑変性症などの患者さんも増えています。このような疾患の正確な診断・治療は重要と考えられます。私たちは皆様の眼の健康を守り、生活の質の向上を図れるように努力しています。眼科スタッフは医師2名、視能訓練士1名、看護師2名、事務員です。午前中に一般外来を行い、午後は予約制にて特殊検査、レーザー治療、蛍光眼底造影などを行っています。手術は白内障、緑内障、角膜移植術を含めた角結膜疾患などの手術を行います。大学病院など専門施設と連携の上、より高度な医療を提供できるよう努力いたします。

眼科医長 高野 洋之



医事課

患者さんが病院へお出でになったときに最初に接するのが医事課の職員です。受付・案内・相談などの窓口があり、病院の顔ともいわれており、当院のイメージが印象付けられる部署でもあります。

外来・入院の診療および検査等の請求事務に関わることが主な業務で、保険の種類に従い診療報酬額の一部を、患者さんに窓口で請求させて頂いております。診療受付や会計業務等は、スピードと正確さが求められており、日々努力を重ねているところであります。

請求内容等に疑問な点がございましたらお気軽に職員にお尋ね下さい。

医事課長 横木 悟



季節の one point

インフルエンザのお話

インフルエンザの季節がやってきました。インフルエンザはA型とB型があって、毎年1月から3月にかけて人口の5~10%の人がかかるといわれています。

潜伏期が1~3日と短くて感染力が強く、肺炎や中耳炎などの合併症をおこしやすいので、ワクチンによる予防が大切です。高齢の方、基礎疾患のある方、医療や介護関係者は積極的に受けましょう。

インフルエンザにかかった人の咳などで飛んだ分泌物を吸い込む飛沫感染と、分泌液がついた手で鼻や目を触ってうつる接触感染とがありますので、マスクや手洗いも予防効果があります。かぜ症状のある方は病院内では必ずマスクをしてください。手洗いはせっけんで「ハッピーバースデー トゥユー」を2回歌う時間をかけて丁寧に洗いましょう。

インフルエンザの症状は急な高熱と、倦怠感や関節痛などの全身症状を伴うことが特徴です。インフルエンザの人との接触がある場合はそれだけで診断できることもありますが、鼻やのどの分泌物をとって(ちょっと痛い)簡単な検査で調べることもできます(迅速検査)。病院では30分から1時間で結果が出ますが、正確に診断できるのは7~9割です。

川崎病院の情報や診療科・専門外来などについては、当院のホームページでご案内しております。ホームページでは、その他にも新しい情報や皆様の健康に役立つ情報をお届けしていますので、ぜひ！アクセスしてください。

<http://www.city.kawasaki.jp/35/35kawsyo/home/home.htm>

インフルエンザの薬は発病後早く開始しないと効かないので、処方を受けたらすぐ服用してください。水分や栄養、そして十分な休養をとることが大切です。お子様に使う解熱剤は小児用を確認して使わなければいけません。熱が下がってもウイルスはまだしばらく残っているので、2~3日は他の人に移さないように注意しましょう。

今年から高齢者と基礎疾患のある方は、家族がインフルエンザにかかった時、インフルエンザの薬を予防的に使えることになりました。保険の適応はありませんので、詳しくは医師にご相談ください。

小児科参事 三田村 敬子

